

## 【調査概要】

- ・インターネットを活用したアンケート制度「おおさかQネット」による府民へのアンケートを実施（平成27年8月7日）
- ・回答総数1000（国勢調査結果（平成22年）に基づく性・年代・居住地（8地域）の割合で割り付けた15歳以上の大阪府民）

表 1-3-1 回答者の内訳

		男性					女性					
		(1250歳代以下)	30代	40代	50代	60代以上	(1250歳代以下)	30代	40代	50代	60代以上	
全体	人	1000	97	91	84	69	146	97	93	85	74	164
	%	100.0	9.7	9.1	8.4	6.9	14.6	9.7	9.3	8.5	7.4	16.4
配信エリア	大阪市	305	31	29	25	22	43	32	29	25	21	48
		100.0	10.2	9.5	8.2	7.2	14.1	10.5	9.5	8.2	6.9	15.7
	豊能	74	7	6	6	5	11	7	7	7	6	12
		100.0	9.5	8.1	8.1	6.8	14.9	9.5	9.5	9.5	8.1	16.2
	三島	124	12	12	11	8	17	12	12	11	9	20
		100.0	9.7	9.7	8.9	6.5	13.7	9.7	9.7	8.9	7.3	16.1
	北河内	134	13	12	11	9	21	12	12	11	10	23
		100.0	9.7	9.0	8.2	6.7	15.7	9.0	9.0	8.2	7.5	17.2
	中河内	94	9	8	8	6	15	9	8	8	7	16
		100.0	9.6	8.5	8.5	6.4	16.0	9.6	8.5	8.5	7.4	17.0
	南河内	72	7	6	6	5	11	7	6	6	6	12
		100.0	9.7	8.3	8.3	6.9	15.3	9.7	8.3	8.3	8.3	16.7
	泉北	132	12	12	12	9	19	12	13	11	10	22
		100.0	9.1	9.1	9.1	6.8	14.4	9.1	9.8	8.3	7.6	16.7
	泉南	65	6	6	5	5	9	6	6	6	5	11
		100.0	9.2	9.2	7.7	7.7	13.8	9.2	9.2	9.2	7.7	16.9

- ・各配信エリアは次のとおりである。

「大阪市」＝大阪市

「豊能」＝箕面市、池田市、豊中市、能勢町、豊能町

「三島」＝吹田市、茨木市、摂津市、高槻市、島本町

「北河内」＝枚方市、交野市、四條畷市、大東市、寝屋川市、門真市、守口市

「中河内」＝東大阪市、八尾市、柏原市

「南河内」＝松原市、藤井寺市、羽曳野市、富田林市、河内長野市、大阪狭山市、太子町、河南町、千早赤阪村

「泉北」＝堺市、高石市、和泉市、泉大津市、忠岡町

「泉南」＝岸和田市、貝塚市、泉佐野市、田尻町、泉南市、阪南市、岬町、熊取町

【調査結果】

○日頃の3Rの取組み状況について

- ・年齢層別の3Rの取組み状況を表1-3-2に示す。

表1-3-2 年齢別の3Rの取組み状況

(単位：%)

取組み状況	全体	若者層 (15～39歳)	壮年層 (40～59歳)	高齢層 (60歳以上)
積極的に取組んでいると思う。	8.6	6.6	6.7	12.9
ある程度取組んでいると思う。	46.0	39.4	45.8	54.2
あまり取組んでいないと思う。	24.0	27.0	24.0	20.3
ほとんど取組んでいないと思う。	12.2	15.3	14.1	6.5
わからない。	9.2	11.6	9.3	6.1

- ・全体としては、「積極的に取組んでいる」「ある程度取組んでいる」を合わせると54.6%と半数以上の府民が3Rに取組んでいる。
- ・年齢層が上がるにつれ3Rに取組んでいる割合が高い。

- ・地域別の3Rの取組み状況を表1-3-3に示す。

表1-3-3 地域別の3Rの取組み状況

(単位：%)

取組み状況	大阪市	豊能	三島	北河内	中河内	南河内	泉北	泉南
積極的に取組んでいる。	6.6	8.1	8.1	10.4	7.4	9.7	12.9	7.7
ある程度取組んでいる。	46.6	48.6	48.4	53.0	41.5	40.3	40.9	44.6
あまり取組んでいない。	25.2	28.4	23.4	21.6	22.3	23.6	22.0	26.2
ほとんど取組んでいない。	13.1	8.1	11.3	10.4	12.8	19.4	12.9	7.7
わからない。	8.5	6.8	8.9	4.5	16.0	6.9	7.7	13.8

○ 3 Rの行動についての考え (複数回答可)

- ・年齢別の3 Rの行動についての考えを表 1-3-4 に示す。

表 1-3-4 年齢別の3 Rの行動についての考え

(単位：%)

取組み状況	全体	若者層 (15～39 歳)	壮年層 (40～59 歳)	高齢層 (60 歳以上)
1 人ひとりが取組むことが重要である。	59.4	47.6	60.3	72.9
環境保護のために必要である。	43.0	34.9	39.7	56.1
手間隙がかかる。	24.9	30.4	23.7	19.4
生活が不便になる。	9.6	9.8	7.4	11.6
1 人ひとりが取組んでも、効果があるとは思えない。	5.8	8.2	6.1	2.6
わからない。	11.7	14.0	12.5	8.1

- ・3 Rの行動の重要性については、「1 人ひとりが取組むことが重要である」と考えている府民の割合が 59.4%あるなど、肯定的な回答のほうが否定的な回答よりも多かった。
- ・否定的な回答の中で最も多かったのが、「手間隙がかかる」であり、年齢層が低くなるほど割合が高くなっていた。

- ・3 Rの行動についての考えと、行っている取組みについて、クロス集計した結果を表 1-3-5 に示す。

表 1-3-5 3 Rの行動についての考えと取組み

(単位：%)

取組み状況	1 人ひとりが 取組むことが 重要	環境保護の ために必要	手間隙が かかる
積極的に取組んでいると思う。	10.4	13.0	6.0
ある程度取組んでいると思う。	58.8	61.6	46.6
あまり取組んでいないと思う。	22.7	19.5	27.7
ほとんど取組んでいないと思う。	5.9	4.2	16.1
わからない。	2.2	1.6	3.6

- ・3 Rの取組みについて、「1 人ひとりが取組むことが重要」「環境保護のために必要」と考えている人のうち、69.2%、74.6%と多くの人が「積極的に取組んでいる」「ある程度取組んでいる」と回答していた。
- ・一方、「手間隙がかかる」と考えている人でも半数を超える人が「積極的に取組んでいる」「ある程度取組んでいる」と回答していた。

○日頃取組んでいる3Rの取組みについて

日頃取組んでいる3Rの取組みについて、表1-3-6に示す。

表1-3-6 日頃取り組んでいる3Rの取組み

(複数回答可)

(単位：%)

取組み	全体	若者層 (15～39歳)	壮年層 (40～59歳)	高齢層 (60歳以上)
詰め替え製品を買うようにしている。	62.7	55.6	66.3	67.7
ごみは市町村で定められた分別に従って出している。	62.3	47.1	65.4	77.7
レジ袋をもらわないようにしたり、マイバックを持参している。	56.8	49.2	56.1	66.8
買い過ぎ、作り過ぎをせず、食品を捨てないようにしている。	44.1	36.8	45.8	51.3
壊れたものは修理して、長く使用するようにしている。	34.7	27.8	32.7	45.2
牛乳パックやトレイなどの店頭回収に協力している。	34.5	23.3	36.9	45.8
簡易包装に取組んだり、使い捨ての箸を使用しない店を選ぶ。	14.8	10.1	17.6	17.7
フリーマーケットやバザー、リサイクルショップを利用している。	11.5	12.7	12.2	9.4
リサイクル製品を購入するようにしている。	10.2	7.1	11.2	12.9
レンタルやリースを利用している。	4.6	4.5	6.4	2.9
取組んでいない。	10.8	15.3	10.3	5.8

- ・半数以上取り組んでいることは、リデュースの取組みでは、「詰め替え製品を買うようにしている」「レジ袋をもらわないようにしたり、マイバックを持参している」、リサイクルの取組みでは、「ごみは市町村で定められた分別に従って出している」であった。しかし、「レジ袋をもらわないようにしたり、マイバックを持参している」「ごみは市町村で定められた分別に従って出している」については、若者層で取り組んでいるのは半数以下であった。
- ・年齢層が高くなるほど、取組んでいる割合が多くなっている。
- ・「フリーマーケットやバザー、リサイクルショップを利用している」「リサイクル製品を購入するようにしている」「レンタルやリースを利用している」に取り組んでいる割合は、他の取組みと比較して低かった。

## ○まとめ

- ・半数以上の府民が3 Rに取り組んでいる。
- ・年齢層が上がるにつれ3 Rの取り組み割合が高くなっている。
- ・3 Rの取り組みが必要と考えている人は、高い割合で3 Rに取り組んでいるが、「手間隙がかかる」と考えている人も半数を超える人が3 Rに取り組んでいる。
- ・「詰め替え製品を買う」「レジ袋をもらわない」といった取り組みやすい行動は、取り組んでいる割合が高くなっている。